

出来ることを考えて、事故を防ぐ

では、二度と同じことが起こらないために「何をするか」。その意識を持つことが、何よりも大事になります。

前ページの対策としては、下の写真などが考えられます。牛との接触を必要最小限にする事や道具を使うことが大切です



対策①

飼槽側から作業して牛との距離を保つ



対策②

牛頭を保定して動けない様にする



家畜労働安全の勉強後「ヒヤリ・ハット対策で取り組めそうなことは何ですか？」というアンケートを実施。「事故は防ぐもの」という意識が何よりも重要です

※2020年アンケート結果より 記載いただいた内容をそのまま表現しております

事故のイメージをしてから作業すること

休憩をとる事は、いつも大事だと思っている

常に危険のリスクを考える

事故は未然にふせげた話であり、確認ミスだけ

危ないと思った時は、手を離す、止まる、逃げる、判断する

護身用棒を使っています

蹴り癖のある牛にキックノンをしなくて蹴られた。道具は使用する

大声をださない！

1人で作業しない

他の人も安全に作業が出来る様きちんと牛を捕まえる

普段慣れた作業でも危険を頭の片隅に置いて作業する

プロテクターは良いと思った。

やはり危険を共有する事。大事だと思いました

牛頭のどこかにヒモでしばって作業すること

トラクターなど普段と違う作業の時は特に注意する

頑張りすぎてケガをしない。

危険にあった時の事を忘れず、事後対策に心がけが必要

襲ってくる牛に鈴をつけるアイデアは、やってみたい

作業に慣れすぎていた。常に考える。

気持ちも身体も無理しすぎない

